

いあん若葉通信



No. 070

発行日：2024年03月14日
編集&発行：ゆめの園若葉広報
電話：03-3935-5780
FAX：03-3935-5790

2階一、二丁目

豆まきを行います

した

鬼の顔が見える状態なので、投げるのを遠慮される優しい方が多かったですが笑顔で参加して頂けました。
普段はあまり腕を動かさされない方も、腕を振って少し運動になりました。



3階一、二丁目

いつもと変わらないほのぼのとした週末の午後、突然の赤鬼の襲来。赤鬼を演じる職員をニコニコと温かく見守って下さいました。そんな優しいご入居者様方なので、誰も豆を投げつけてくれません。鬼の方からお願いして、男性利用者様に豆を投げて頂くことに。渾身の一投は急に直撃。見事、鬼を退治できました。多くの方はニコニコしていましたが、なかには本当に怖がっている方もいたり、いろいろな表情が見れて楽しかったです。



春分の候

桜前線の待ち遠しい今日この頃、日毎に春らしくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目ですので、体調をくずしたりなさいませんよう、お気をつけください。
さて2月もイベントを実施しましたが2階の三、四丁目だけ職員が手薄で実施ができませんでした。申し訳ございません。出前を始めて約1年が経ちました。ご家族様におかれましては金銭的なご負担をおかけしておりますが大変好評で来年度も継続させていただきたいと思っております。1年に1回ではありますが楽しみの一つとなっておりますのでご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



中台さくら草祭

3月3日に中台地域の世話人

さんと保育園、幼稚園、小・中学校、都立志村学園の児童・生徒が大切に育てた約2,500鉢のさくら草を展示したり屋台が出たり地域活性のためのイベント尾が行われました。



4階一、二丁目

2月3日に4階全体で豆まきを行いました。普段あまり関わりのないご入居者様も、豆まきを通して色々話されている様子も見られました。そして皆様鬼に向かって元気よく「鬼は外ー！福は内ー！」と元気よくボールを投げてくださいました、最後に鬼と一緒に写真を撮り皆様満足された様子を見る事が出来ました。



4階三、四丁目

4階全フロアー合同で節分で豆まきを行いました。鬼に向かって一生懸命にボールをぶつけることができました。



2月の駅弁と郷土料理

シンガポール海南鶏飯(ハイナンジーファン)は、茹で鶏と、その茹で汁で調理した米飯を共に皿へ盛り付けた米料理です。現地では、専門店や屋台で食べることができる庶民的な定食のひとつで、元々は中国地方の海南州からの移民によって伝えられたと言われています。



姫路駅シウマイ駅弁 横浜・崎陽軒とのコラボ弁当。シウマイは崎陽軒が、おかずはまねき食品が作った東西駅弁夢のコラボ弁当。「関西の出汁文化」と「シウマイ」を融合させた新しいおいしさです。一口食べたら、納得の味です！



3階三、四丁目

まだまだ、寒い時期が続きます。東京では雪が降りましたね。2月の季節を味わって頂こうと節分レクを開催しました。まずは、鬼になりきって頂きました。「これは可愛いね。」とか「これこわい。」とお話しながら楽しく写真を撮りました。ペットボトルを鬼にみたくボールを使って倒して頂きました。「難しい。」とお話しながらも皆様無事に鬼は外できたと思います。



出前

